

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.151
2020.5

くしろ丹頂

組合員地区説明会 開催



CONTENTS

- 機構改革・金融効率化店舗・Aマートに係る地区説明会 — 1
- 農業における新型コロナウイルス感染者発生時対応会議 — 2
- サイレージ用コンビラップ稼動/釧路丹頂農協女性部 通常総会 — 3
- 釧路丹頂農協青年部 通常総会
釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会 — 4
- 新採用職員の紹介 — 5
- 普及センターだより — 6
- 持続可能なJAの事業運営を考える — 7~10
- 新型コロナウイルス感染症対策 — 11~13
- JAグループ通信 — 14
- 山菜入門 — 15~16
- 農畜産物消費拡大運動産地応援プロジェクト/今月のミルクレシビ — 17
- ちょっと一息あたまの体操「まちがいさがし」 — 18
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 辞令発令 — 19



新型コロナウイルス対策会議 開催

機構改革及び金融効率化店舗並びに Aマートに係る地区説明会 開催

～ 長期的な視点及び展望に基づいた
建設的な意見・要望等が数多く出されました ～



白糠会場



幌呂会場

「機構改革及び金融効率化店舗並びにAマートに係る地区説明会」が、3月25・26日の2日間、2会場（白糠・幌呂）で開催されました。

組合員の皆様方には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた説明会でしたが、ご出席頂き誠にありがとうございました。

説明事項として、機構改革、金融効率化店舗への移行、Aマートへの移行に係る考え方と今後のスケジュール等について説明がありました。

出席した組合員の皆様方からは、各説明事項に対する長期的な視点と展望に立った具体的な質問・意見・要望等が数多く出されました。

今回、組合員の皆様方から出された質問・意見・要望等を踏まえ、事業推進を図って参ります。



組合員からの質疑



農業における新型コロナウイルス感染者発生時の対応等に係る打合せ会議 開催

～ 地域関係者の連携・体制の構築が急務 ～



3月19日、鶴居本所で農業における新型コロナウイルス感染者発生時の対応等に係る打合せ会議を各関係機関の担当者計26名が出席し開催されました。開催にあたり武藤組合長は、「現在、新型コロナウイルスが大流行し、世界情勢は大変な事態となっております。我々酪農場においても学校給食用牛乳がストップした事等による牛乳消費の大幅な減少や海外からの技能実習生が入って来られないなど各地で大きな影響が出ております。今、会議・集会等を最小限に自粛している中、本日は、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合等について確認を緊急で実施致します。」

新型コロナウイルス対策については、伊東良孝農林水産副大臣が本部長となり、北海道対策本部が設置されました。国としてのガイドラインが示され、酪農場に感染者が出るという最悪の場合の対応を、事前に関係者が集まり決めておく必要があります。そのガイドラインに沿い、当J A管内で発生した場合の対応を確認し、もしもの時に備えたい考えです。最終的に感染者が発生した場合は、私に対策本部長となり采配を振るわせて頂きたくご理解願いたい。」と挨拶しました。

会議では、新型コロナウイルス感染者発生時に係る施設等の消毒資材や防護服等の対応、生乳生産継続のための支援体制等について協議し、万が一に備え万全の体制で対応して参ります。（発生時の対応等詳細につきましては、3月27日付正組合員の皆様方への通知及びJ A広報誌たんちよう4月号に掲載しております。）



サイレージ用 細断型コンビラップ稼動!!

～ 良質粗飼料の確保・作業の省力化・生産性の向上等を図る ～



説明を受ける組合員の皆さん

3月23日、鶴居村茂雪裡でサイレージ用細断型コンビラップの実演が行なわれました。
このコンビラップは、鶴居地区の農業振興積立金の活用方法について、かねてより鶴居地区運営委員会の中で協議・検討を重ね、本年2月に導入されたものです。機械の維持管理等は、

農協が鶴居営農組織代表者協議会と契約を結び貸付する形です。
今後、グラス及びコーンサイレージを高品質な状態で通年給与することで、夏の採食性・産乳性低下の抑制と繁殖の改善、作業の省力化が図られ、生産性の向上に繋がる事を期待しております。



実演の様子

釧路丹頂農協女性部 通常総会

3月16日、本所で第14回釧路丹頂農協女性部通常総会が開催されました。開催にあたり武藤和江部長は、「今、新型コロナウイルス感染症の影響により日本経済はもとより私達の生活や女性部活動が大きな影響を受けております。そのような中、今回初めて書面議決での総会となりますがご協力



遠藤議長



武藤部長



の程、よろしくお願い致します。」と挨拶しました。
議長は、幌呂支部の遠藤さく子さん、令和元年度事業報告並びに収支決算、令和2年度事業計画他について書面議決等により全議案承認され、総会は滞りなく終了致しました。

釧路丹頂農協青年部 通常総会



松下部長

3月24日、本所で第14回釧路丹頂農協青年部通常総会が開催されました。開催にあたり松下雅幸部長は、「昨年は全体的に良質粗飼料が確保され安心しておりましたが、冬期間の降雪が少ない為深く土壌凍結している状況や、大雨による草地の浸水により春先の作業に支障が出るのではないかと心配しております。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で牛乳の消費量減少等、非常に先行き不透明で不安を抱える状況です。我々青年部と

議長は、音白支部の大坂隼人さんが務め、令和元年度事業報告並びに収支決算、令和2年度事業計画他について書面議決等により全議案承認され総会は終了致しました。

しては、ポリシーブックなどを通じ不安な情勢を解決するための様々な政策の提起等を行なっていく必要があります。安全安心な生乳を生産しつつ今迄以上に乳製品消費拡大への取り組み等を進めて参りたい。」と挨拶しました。



大坂議長

釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会



瀧澤議長



林 会長

3月24日、本所で第14回釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会が開催されました。

開催にあたり林 稔幸会長は、「新型コロナウイルス感染症により非常事態という中でありますので、4月に予定されていた各支部スプリングシヨウなどが中止となり、新年度計画がどこまで予定通り出来るか不透明な状態です。この乳牛改良という分野は乳牛生産に

議長は、鶴居支部の瀧澤一成さんが務め、令和元年度事業報告並びに収支決算、令和2年度事業計画他について書面議決等により全議案承認され、総会は滞りなく終了致しました。

あたり根幹をなすものであり、会員に情報を提供しつつ出来る範囲で活動して参りたくご協力の程よろしくお願ひ致します。」と挨拶しました。





新採用職員の紹介



おのむら だい
小野村 大

- 所属部署／営農部 農業振興課農業支援係
- 年齢／18歳
- 出身地／釧路町
- 出身校／釧路北陽高校（R2年卒）
- 趣味／カラオケ
- 特技／バスケットボール
- 組合員の皆さんへ一言／今年度からお世話になります小野村 大です。農業についてはわからないことばかりですが、ご迷惑をおかけしてしまうこともあります、いち早く仕事を覚えがんばりますのでよろしくお願ひします。



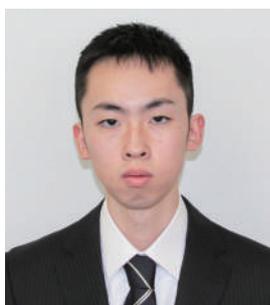
きむら しょう
木村 翔

- 所属部署／営農部 農業振興課農業振興係
- 年齢／18歳
- 出身地／釧路市
- 出身校／釧路明輝高校（R2年卒）
- 趣味／スポーツ、音楽鑑賞
- 特技／卓球
- 組合員の皆さんへ一言／今年度から釧路丹頂農協で働かせていただく木村 翔と申します。知識はほとんどない状態ですが、組合員の皆さん、先輩方とたくさんコミュニケーションをとって1日でも早く一人前の農協職員になりたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



ふちかみ けいと
淵上 恵以

- 所属部署／畜産生産部 家畜改良課家畜改良係
- 年齢／20歳
- 出身地／十勝清水町
- 出身校／北海道立農業大学校（R2年卒）
- 趣味／アイスホッケー
- 特技／そう呼べるものがないです。
- 組合員の皆さんへ一言／ご迷惑をかけることがあるかもしれませんが、よろしくお願ひします。少しでも仕事に関する知識、技術の習得に励み家畜改良課の一員として頑張っていきたいです。又、十勝出身ということで釧路の道もあまり理解していない分、早く覚えていきたいと考えています。



ひろた いさみ
廣田 勇海

- 所属部署／白糠支所 購買課資材係
- 年齢／18歳
- 出身地／釧路市
- 出身校／釧路明輝高校（R2年卒）
- 趣味／映画鑑賞
- 特技／バスケットボール
- 組合員の皆さんへ一言／今年度から釧路丹頂農協に勤めることになりました、廣田勇海と申します。わからないことばかりで、色々ご迷惑をかけるかもしれませんが、精一杯頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。



普及センターだより

釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

乾物摂取量を 高める飼槽管理

TMRセンターの同じエサを使っているのに、農場間の採食量に差があることが見られます。産次数や搾乳日数に大きな差がなければ、飼槽管理に何か違いがあるのかもしれませんが。今回は、乾物摂取量を高める飼槽管理についてご紹介します。

1 なぜ乾物摂取量が重要か

水分を除く成分のことを「乾物」といい、牛が食べた乾物量を「乾物摂取量」といいます。水分はエネルギーや栄養素にはならないので、牛が十分なエサを食べているかは乾物摂取量で判断する必要があります。

乾物摂取量が少ない牛は、生命維持に栄養を使うことに精一杯で、乳量や繁殖など生産性に悪影響を及ぼします。

2 牛がエサを食べているか

牛が乾物摂取量を満たしているかの目安にルーメンフィルスコア(RFS)があります。

RFSは、牛の左側の肋骨と

腰角の間に位置する「ルーメン」の膨らみで判断します。ルーメンが大きく丸く膨らんでいる牛はエサを十分食べています(写真1)。

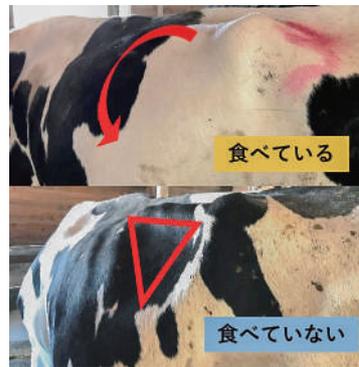


写真1 「ルーメン」の膨らみで食い込みを判断

しかし、三角形に凹んでいる牛は、病気や分娩直後、嗜好性の悪いエサなどが要因でなければ、飼槽管理により乾物摂取量を高めることができます。

3 乾物摂取量を高める飼槽管理

○給餌

①新鮮な飼料給与のため、飼槽を掃除してから給餌する

②一回給餌で給餌後、一時間と四時間以内にエサ寄せできない場合は、夕方に給餌を行う(夜間は飼槽のエサの動きが

緩慢になるため)

③二回給餌の場合は、夕方の給

餌量を多くする(例:夕方70%、朝30%)

④飼槽はカラにせず、常にエサがある状態にする(写真2)

⑤給餌量は残餌が給餌量の5%程度となる量にする



写真2 エサは切らさずいつでも食べられるように

○エサ寄せ

①一度目のエサ寄せは、給餌後一時間以内に行う

②その後もできるだけ頻繁に行う(今よりも一回増やす)

③牛がエサを食べやすいように、エサは飼槽壁から30cm離れた位置に置く(写真3)



写真3 エサ寄せする時は飼槽壁から30cm離れた位置に

○その他

①引き込み防止装置を設置して、飼槽からのエサの口スを減らす(つなぎ飼い)(写真4)

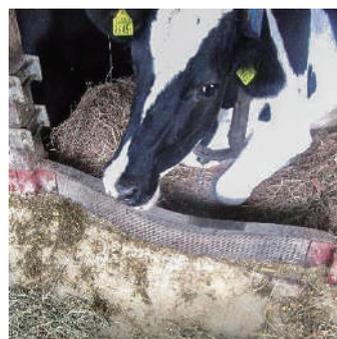


写真4 ゴムマットの切れ端を利用した引き込み防止装置の事例

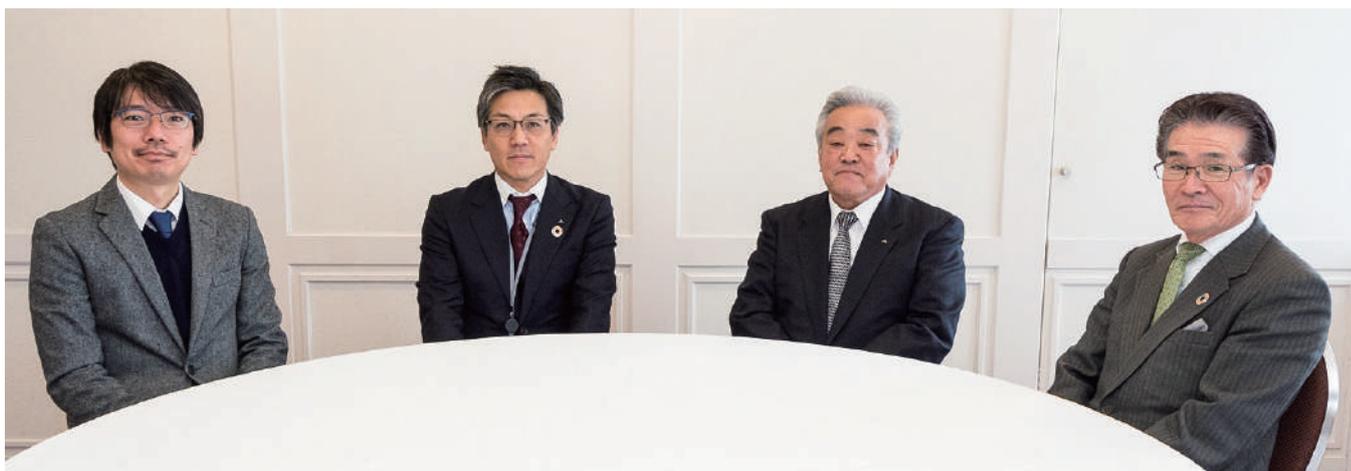
②水槽、ウォーターカップは定期的に清掃し、なるべく清潔な状態を保つ(写真5)



写真5 エサが入っていたら「発見した時」に取り除く

最後に

毎日のちょっとした管理の差が、乾物摂取量と乳量を変化させているのかもしれない。今回紹介した内容は、すぐでも取り組めることもあるので、今日から実践してみてください。



信用事業のあり方をめぐり、道内108JAでは2019年4月までに①単独②合併③信用事業譲渡（代理店化）の3つの選択肢に基づく検討が行われた。農協改革集中推進期間が終了する一方、マイナス金利の長期化に伴い、信用事業における奨励金水準の段階的な引き下げが始まる。JAをめぐる環境の変化を踏まえ、今後も持続可能な経営基盤をどう維持していくのか。北海道大学・小林国-准教授の進行で、「持続可能なJAの事業運営」について道内JA関係者にご議論いただいた。

【出席者】

- 小林 国-**
北海道大学大学院農学研究院准教授
- 柴田 倫宏**
JA北海道中央会専務理事
- 宮本 英靖**
JAピンネ代表理事組合長
- 佐藤 正昭**
JAこしみず代表理事組合長

出典：『北海協同組合通信2020新春特集号』
「持続可能なJAの事業運営」北海道協同組合通信社

信用事業は全道で約35億円の減少

小林 今日のテーマは「持続可能なJAの事業運営」。農協改革については、JAグループの自己改革に

一定の評価も出てきているが、経営の視点から見ると、これからかなりシビアな状況が予想される。特に20年度から農林中金の奨励金引き下げが始まり、金融事業を中心とした都府県のJAだけではなく、農業地帯の北海道のJAにとっても非常に大きな課題になっている。まずは農協改革や金融環境の変化を踏まえた農協経営のあり方として、全道の方向性と各JAの取り組みなどをうかがいたい。最初に中央会が19年4月に取りまとめた各JAのあり方検討の状況を。

柴田 5年間の農協改革集中推進期間が19年5月に終了し、ひとつの区切りがつけられたが、この間にいろいろな改革を求められてきた。同時に、金融情勢もマイナス金利が長期化し、日本の経済システムが大きく変わり、そこに農協も飲み込まれつつある。持続可能な事業運営に向けて全道108農協の皆さんはどう考えていくのかということで、農林中金の奨励金引き下げを前提にそれぞれシミュレーションしてもらい、

単独、合併、信用事業譲渡の3つの選択肢も示しながら、19年4月までに各農協で再点検していただいた経過にある。

その結果、108農協のうち、コスト削減や販売強化などに取り組みながら、単独の総合事業体としてやっていくと回答したのは94農協で、このほか事業基盤強化のため合併を検討したいと回答したのは11農協だった。このうち8農協はすでに合併検討委員会などの枠組みがあるが、枠組みなしのところも3農協含まれている。また、あり方検討とは事情が異なるが、日高の3農協が信用事業譲渡を選択している。

なお、検討に当たっては、農林中金やJA道信連からの還元率を一律で設定し、各農協の中期計画などをもとに2023年度の収支見通しをシミュレーションしていただいた。日高3農協を除く105農協の部門別事業利益を見ると、17年度と比較して信用事業は全道で約35億円のマイナスが見込まれるほか、共済事業も長期共済保有高の減少により収益率が下がるため約11億円減、購買事業も約12億円減。このほか、販売事業利益は微増の2億円、その他が9億円増で、事業総利益全体では約47億円のマイナスとなっている。これ



小林 国之
(こばやし・くにゆき)

1975年北海道生まれ。北海道大学大学院農学研究科を修了後、助教を経て2016年から現職。地域連携経済学研究室。主著は「ホクレン販売事業にみる経済連の組織機構と機能」「総合農協のレーゾンデートル」「北海道から農協改革を問う」など。

に対し、事業管理費は12億円増えるため、経常利益は71億円のマイナス。17年度と比較して35%ほど厳しくなるといふ結果が出ている。

宮本 当農協でも影響は大きく、コミュニケーションの結果、22年には現行と比較すると信連からの奨励金で約5000万円ほど落ちる。しかし、今までも農協本来の姿は、組合員の結集があつて、われわれが農産物をしっかり集荷して有利販売することが第一で、この農産物の販売が金融・共済、経済事業につながっていくというイメージですとやってきている。これからもしっかり組合員の理解をいただきながら、農産物の集荷率を高め、さらに系統が有利販売を続けていけば、何とか乗り切っていけるだろうと考えている。

小林 しかし、5000万円というのは大きな額だ。畑作・酪農地帯に比べて水田地帯は貯貸率が低く、預金運用が中心。より大変なのは

ないか。

宮本 確かに貯貸率は7%で預金の割合が高く、その分今回の奨励金引き下げは非常にきつい。ただ販売面においては、おかげさまで米の集荷率が93%と高い。これからも農協に対する組合員の理解をつないでいきながら、農協離れを食い止めることによつて、信用事業の減収分は全体でカバーできるといふのが基本的な考え方だ。

2006年に営農センターを立ち上げ、営農部と農産部をひとつの組織に入れると同時に、営農部の中に営農渉外課を設けた。このスタッフは4人で、仕事は農家回りが専属。中身は生産資材の推進、営農相談、農作業の人材派遣とさまざまだが、それによつて農協への結集と集荷率の向上が図られ、その延長で金融、共済事業に結びついていけばいいと考えている。実際に渉外課を始めてから販売高は2億5000万円ほど

伸びてきた。こうした取り組みを進めていくことがこれからの農協経営にとって重要だと考えている。

小林 ピンネの営農渉外課は、全国的に見るとTACに近い仕組みだと思う。組合員との関係性や若い世代の変化は。

宮本 営農渉外課の組合員訪問は毎日のことなので、特に何も用意せずに行かなくてはならないが、その中で、基本的に農協は皆さんがつくって皆さんが利用する組織であり、いとこ取りでは大変なことになる、皆さんが結集することが大切だという指導は欠かさないようにしている。

併せて青年部組織にも渉外課の担当者などが顔を出し、青年部の中から次の農協の経営者が出てくるということも伝えてきており、それによつて若い世代の意識も少しずつ変わってきた気がする。また、以前は渉外課に女性スタッフがおり、そのため農家のお母さんや娘さんなどの相談

ことも聞くことができた。ここは職員の配置を工夫しながら将来に向け再設置を考えている。

小林 全国的に見ても農家の女性の声をきちんとくみ上げるといふのは重要な取り組みであり、北海道はまだ足りない部分があるが、農協への結集力という面からも、経営主はもちろん、女性の声を聞くことでさらに広がりが出てくると思う。このほか、組合員との対話という意味では、ピンネでは全職員が農事組合組織などに出向く一斉推進にも取り組んでいる。

宮本 それは渉外課とはまた別の「相談機能」という組織体で、121人の職員を5人平均で21班に分け、管内全地区に割り振り、春は米の契約や水田の作付け、秋は集荷体制の相談などに出向いているもの。農協からの押し付けではなく、組合員からも頼りにされており、逆に「来てくれ」と言われて行くこともある。



柴田 倫宏
(しばた・みちひろ)

1966年生まれ、北海道大学農学部卒。88年北農中央会入会、90年函館支所、95年帯広支所、99年農業対策部畑作農業課、2006年札幌支所、09年基本農政対策室、12年農業対策部畑作農業課長、13年同酪農畜産課長、16年東京事務所長、17年常務理事、19年9月から現職。

佐藤 問題は、われわれは金融農協ではなく、販売農協だということ。まずそこをしっかりとやっていかないといけない。農協は金融・共済で成り立っていると見られがちで、もちろん金融の利益もあるが、基本は営農指導であり、それによって農家の皆さんの生産力を上げていくための組織。常にそこを真ん中に置いてやっていくことが大切だ。さりとて、金融・共済は農家組合員だけでなく地域住民からも頼りにされている。うちも准組合員が6割以上を占め、地域住民に支えられている部分がある。小清水には郵便局と信金もあるが、金融のシエアは農協が約7割。地域住民の生活を守るために必要な組織になっている。

シミュレーションについては、うちは交付金を入れた年間の売上が140億円ほどあり、貯金は260億円ぐらい扱っているが、5年後には事業利益が約5000万円減る。そ

の先はもつと減る可能性もある。しかし、そこは工夫次第だろう。当然これからも金融事業は譲渡せずしっかりとやる。

ただ、営農指導の中身を細かく見ると、土地の売買から税金対策、農作業事故の対応、さらには冠婚葬祭や高齢者の悩みごとの相談など、相当幅広いことをやっている。これから金融・共済が厳しくなっていくとすれば、そこは組合員にきちんと説明し、営農指導はすべて無償という認識は、少しずつ変えてもらわなければならぬだろう。そのためにも組合員に正確な情報を伝えていくことが大切。今は当たり前になっていることも、実は当たり前ではないということも伝えることが大事だと思う。

小林 組合員の理解や教育という面で、小清水は地域の歴史を組合員に伝えるなど積極的に取り組んでいる。



佐藤 正昭
(さとう・まさあき)

1948年生まれ。93年JAこしみず理事、02年から現職。08年からホクレン理事、11年からオホーツク農協組合長会会長、オホーツク農協連代表理事会長、JA道中央会理事、JA全農総代などを務める。

佐藤 そこを一生懸命やらないと、自分一代でここまで来たような感覚になって、ひとりでもできると錯覚する人が出てきてしまう。先ほど米の集荷の話があったが、うちは畑作3品が中心なので少し違うけれども、系統利用が当たり前という空気をつくっておくことは大切。生産部会などでも、ただ罰則規定を設けたのでは「ペナルティを払えばいいだろう」という話になるが、そうではなく、皆で決めたことは皆で守り、

ぐらい危機意識を持っているのだろうか。例えば中央会の連合会化など、人ごとのような思いがあるとすれば、そこは問題だと思う。

地域で守るという意識を持ってもらわなければ。それが寄り集まって農協への結集につながる。そのためには農協としても組合員が何を求めているのかを知り、いかにしてこちらを向いてもらうか、ということが一番大事になってくると思う。

農政運動の重要性を再確認

小林 一連の農協改革の動きについて、実際に組合員の人たちはどれ

佐藤 多くの組合員にとっては人ごとだろう。しかし気にしている部分はあつち、よく言えば、組合長や役員に任せておけば安心だと思ってくれているのかもしれない。それが人ごとではないと伝えるには、ひとつは組合員教育をやつて、政治に興味を持ってもらう努力をすることだろう。小清水では5年ほど前に農民連盟が解散したが、そうなるとう組合員が勉強する場所もなくなつてしまった。そのため新たに農政協議会をつくり勉強してもらっている。北海道の農業は交付金の割合が大きく、中央会を中心とした農政活動があつて初めて経営が成り立つ。決して自分ひとりの力で生活できているわけではない。そこはきちんと制度を含めて教えていかなければ。



宮本 英靖
(みやもと・ひでやす)

1953年生まれ。拓殖大学北海道短期大学卒。99年にJAピンネ監事、2002年代表理事専務を経て、08年から現職。17年からは空知農協連副会長、空知管内農協組合長会副会長、ホクレン理事を務める。道農協米対策本部委員。



ただ、今はいろいろなところから情報が入るし、農業団体と同じような活動をする組織も出始めている。そうすると、われわれが国に要請してやっと積み上げてきたものが、メールなどですぐ手に入る。それも言ってみれば情報のいいとこ取りで、農協も農連も関係ないという人が出てくることになる。これから先はそういうところにも注意を払っていかなければならぬ。

小林 中央会も9月から連合会となったが、北海道のJAグループを代表する組織として、これまで中央会が果たしてきた機能や役割、存在意義などを、末端の組合員にも見えるような形に変え、発信していく必要がある。

柴田 中央会も連合会になってスリム化しなければならないし、やるべきことはきちんとやらなければならない。そういう思いで19年4月に第4次中期計画を立て、3つの基幹事業とともに、農政事業を重点事業として位置づけた。その中で特に農政運動については、かつてのガット・ウルグアイラウンドの時代は、外圧を利用して自ら勉強し、組織に結集するという、まさに協同組合運動の原点とも言べき状況があったと思うが、WTOが空中分解して2国間

の経済連携に移ってきたところから、後の農協改革の影響などもあり、運動の機会が少なくなってきたのは事実。中央会が進むべき道は中期計画に示したが、組合員教育を含めた具体的な運動のあり方なども考えていく必要があるだろう。

佐藤 私が組合長になった当時はWTOがあり、よく全道の組合長の皆さんと一緒に運動に出た。国にも要請に行ったりし、全国大会などにも参加した。しかし最近はそのような機会が減り、参加する組合長も少なくなっている。こういうものは自分で参加して経験することによって、組合員に対してしっかりと説明できるようになる。農政運動の中でもそれが今、非常に足りないところだと思う。

柴田 農業団体が大会や集会を開催すると、外からは「こぶしを挙げている」と見られてしまいかもしくないが、実際はそれにより組織内の結束が高まったり、地元に戻ったときにより正確な情報を組合員に伝えられるという側面もある。そこをもう一度考え直さなければいけないのかもしれない。JA全中主催の大会も開かれなくなったが、ここ2年「全国フォーラム」という名前で開催しており、農政運動に対する危機意識の表れだと思う。

佐藤 そこは形を変えてでもやらないとだめだ。農協改革の中でひとつよかったのは、うちの組合員は中央会の役割を理解してくれている。ホクレンに対してはいろいろ言うが、「中央会は絶対に必要な組織」という理解が組合員にあったこと。正直意外だったがすぐうれしかった。やはり農政活動をしっかりとやっていることが伝わっているのだと思う。非常に大事なことであり、ここを緩めてはいけない。

柴田 農協というのは経済事業体であると同時に運動体であり、手法を含めて運動体の部分をやや疎かにしてきたことが、今日の組合員の組織離れを招いている可能性もあり、そこは中央会の役割が大きい。しっかりとやらなければならない。

小林 なかなか伝わりにくい部分であり、特に比較的若い世代は農政運動という言葉に距離を置きたがる場所があるが、北海道の場合、農政運動の成果として手にしてきたものは非常に大きい。しかし最近は何人が自由にやることを助長する仕組みになっていて、国が示す政策の方向に沿って「それにどう合わせるか」という手法が変わってきているように見えるが。

柴田 確かに、畑作物などは当時

の品目横断など北海道主導で仕組みをつくってきたが、米は全国の仕組みの中でどう北海道に合った運用にしていくかというのが、最近の動きになってきている。特に米政策の見直しが始まったここ数年、農政運動の中で農水省とも意見交換を重ねながら、北海道が求める具体的な仕組みを北海道提案型で強く誘導してきた部分がある。

宮本 具体的には、全国一律の米政策の中で、産地交付金について地域でフリーに配分できるように仕組みを要望し、道枠と地域枠というやり方に対応してもらったのが大きなポイントだと思う。また米の作付面積に関しても、加工用米などのいわゆる水張り転作に地域で自由に取り組めるようになってきているが、これもわれわれが要請しながら、農水省と一緒に仕組みをつくってきたもの。ここはもう少し広げていきたいと思っている。

小林 これからもそうした地道な農政運動の成果を地域農業の振興や農協事業に結びつけていくことが重要。ただ、本来はそれらがすべて一体となって展開してきたのが日本の農協の特質であり、今はそこが分断されてきているという課題もある。

(つづく)

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（けんたいかん倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

新型コロナウイルスは^{ひまつ}**飛沫感染と接触感染により感染**します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、 ^{せき} 咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

日常生活で気を付けること

まずは**手洗い**が大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、**咳エチケット**を行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ**人込みの多い場所を避ける**など、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。



こんな方はご注意ください

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

「帰国者・接触者相談センター」はすべての都道府県で設置しています。

詳しくは以下のURLまたはQRコードからご覧いただけます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html



一般的なお問い合わせなどはこちら

その他、ご自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

厚生労働省相談窓口 電話番号 0120-565653 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~21:00 (土日・祝日も実施)

聴覚に障害のある方をはじめ、電話での相談が難しい方 FAX 03-3595-2756

〔出典：首相官邸HPより〕

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



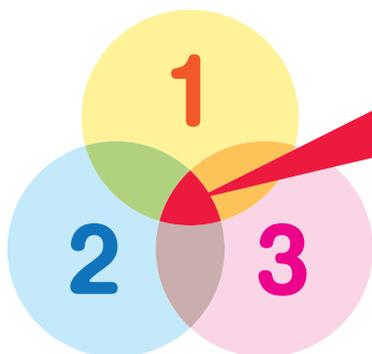
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。





JAグループ北海道では、新型コロナウイルスの影響による、学校給食の停止及び卒業式などイベントの自粛に伴い、JAグループ北海道役職員はもちろん、同じ協同組合であるぎょれんやコープさっぽろ等にも協力頂き、牛乳の消費拡大を行った他、花きについては、北農ビルにて国産花きの販売会を7月末まで、毎週金曜日に開催をしています。

また、感染が疑われる方々などの相談対応にご尽力されている道内保健所の職員皆様の免疫力を高めて頂きたく、4月（計4回）に牛乳乳製品の無償提供を行っております。

新型コロナウイルスにより、行動が制限され体や心にゆとりが無くなってきていると思います。このような時だからこそ、家に花を飾り気持ちを明るく、国産の農畜産物をしっかり食べ、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう！



JA北海道信連



2019年12月、全国各地のJAバンクの利用者が通帳代わりに利用できるサービスとして、スマートフォンアプリ「JAバンクアプリ」の提供を開始しました。

本アプリを利用して、口座残高や入出金明細をスマートフォンで確認することができます。

JAバンクのキャッシュカードをお持ちの個人のお客様であれば、アプリをダウンロードして簡単な初期登録で、誰でも無料で利用することができます。



JA共済連北海道



この4月より、生活習慣病になった時の備えとして「特定重度疾病共済（そなエール）」が新たにラインナップされました。JA共済では資料請求キャンペーンを実施しており、キャンペーン期間中に資料請求をいただいた方にもれなくプレゼントをご用意しております。

キャンペーンの応募期間は令和3年3月10日までですが4期に分かれています。

この機会に、JA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！

（※上記の写真は第1期の賞品です。第2期以降の賞品については変更となる場合がございます。）



ホクレン



ホクレンは3月31日、演劇ユニット「TEAM NACS」リーダーの森崎博之さんの「ホクレンアンバサダー」就任会見と、2020年度女子陸上競技部の新体制記者発表を、ホクレンビルでそれぞれ開きました。森崎アンバサダーは、「拓くぞ！未来」プロジェクトを通じ、北海道農業の魅力を広く発信予定。この日はその初仕事として、新人の保坂野恋花選手を加えた女子陸上チームメンバーたちを「北海道農業のため、ともに頑張ろう」と激励しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



山菜入門

山菜アドバイザー
萩田毅（おぎた たけし）

安全に採取、おいしく味わうための六カ条

山菜がおいしい季節になりました。

山菜を安全に採取し、

おいしく味わうためのポイントをお教えします。

さあ、春の息吹をいただきましょう。

その一 時期

タイミングを逃さず 採取すべし

早春には新芽部分を摘んで食べる山菜が多い。そのタイミングを逃すと、あくが強くなって食べることができません。この一瞬を逃さずに採取することが山菜狩りの醍醐味（だいごみ）です。

山菜は出てくる順番があるのでそれを覚えて

おくとう便利。フキのとう→コゴミ→タラの芽→ウド→ワラビ→ミズなど覚えておく、今は何が旬なのか、次の狙いは何なのか分かかります。桜前線と共に山菜前線も北上し、標高を駆け上がります。



その二 場所

標高を変えて 「時間を巻き戻す」

日当たりの良い場所を好むなど、狙う山菜が好む環境を理解しておかなければ山菜は見つかりません。採取のタイミングを逃したら、採取場所を北上するか標高を高くするかして「時間を巻き戻す」。東京の3月の気候が、東北地方や高い山の上では6月ごろまで再現されます。採取場所を少しずつずらしながら各地で追い求めることも楽しみの一つです。



その三 装備

天候の急変にも 対応できる服装を

春は天候が変わりやすいものです。天気の変化に対応できるよう、かっぱや防寒服は常に準備しておきましょう。履物は登山靴やトレッキングシューズにスバツツか長靴が良いでしょう。山菜の近くにはトゲのある植物や皮膚がぶれる植物が生えているので、シャツも長袖が原則です。またタラの芽やミヤママイラクサなど、トゲがある山菜を採るには軍手が必要です。採った山菜の鮮度を維持するために古新聞と水の入った霧吹き、高い山を登る場合はクマよけの鈴も持って行きましょう。



シオデ

天然のアスパラガス。味は市販されているアスパラガスと違いが分からないかもしれない。ゆでてマヨネーズで食べるとおいしい。

その四 採取後の処理

山菜ごとに最適な保存方法を選ぼう

たくさん採れたら保存する必要があります。ゼンマイは重曹を使ってあく抜きをした後に乾燥保存、ワラビは同様のあく抜き後に塩漬にします。ミツバなどあくが弱く、香りや風味が大切な山菜は、短期間限定ながら生のまま冷凍保存するのがベスト。



その六 料理方法

風味を損なわずあく抜きする

山菜の多くは「あく抜き」が必要です。面倒でもそれぞれのあく抜き方法を覚えましょう。あく抜きの所要時間をよく聞かれますが、山菜の鮮度により大きく異なります。大事なポイントは、あく抜きの途中にちよいちよい味見して抜け加減を確認すること。また、例えばヤマウドは酢水に漬けてあくを抜きますが、抜き過ぎると今度は食物繊維がポロポロになり、食感を損なうので注意しましょう。



その五 食毒判別方法

見分けが付かなければ食べるべからず

食べられる山菜に似た毒草も多いです。アサツキに似たスイセン、モミジガサに似たトリカブト、ギョウジャニンニクに似たスズランなど、毎年のように中毒事故が発生しています。図鑑の絵や写真と姿が似ているだけで判断はせず、確実に分からない場合は専門家に確認しましょう。



ワラビ

山菜狩りの王道食材。春から初夏まで新芽が出続けることも、一度にたくさんの収穫が見込まれることも魅力。あく抜きは一握りのワラビに対して小さじ1杯の重曹を振り、熱湯を掛け一晩置く。



ウド

桜の開花直後が発芽時期。そのタイミングを逃して「うどの大木」になったらもう手遅れ。あく抜きには酢水を使うのがポイントで、料理も酢みそあえが合う。



コゴミ

シダ類には珍しくあくが弱く、軽く湯がいただけで食べられるのが魅力。最近「アカコゴミ」と呼ばれる赤色の別種も人気。ごまあえは絶品。



ウルイ

山菜はあくが強いという常識を覆し、さっと湯がいただけでヌメリのある味を楽しめる。野菜としても栽培されている。

ミヤマイラクサ

ミヤマは深山で、標高の高い場所で見つからない。小さなトゲを甘く見たら大変痛い目に遭うので、採取するときは必ず軍手を使うこと。塩ゆでした後、水にさらすことであくが抜け、トゲも気にならなくなる。



「牛肉や牛乳、花卉等の農畜産物の消費拡大運動」

～ 食べる！のむ！かざる！産地応援プロジェクト～の取り組みについて～

I 目的：本取り組みは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の休校措置や卒業式の開催自粛に伴い、消費が激減した牛肉や牛乳、花卉等の農畜産物の消費拡大に取り組み、消費低迷に苦しむ産地の仲間を助けることを目的に行うものです。

II 具体的取り組み内容

(1) 牛肉：家庭において国産の牛肉を積極的に活用することとします。

(2) 牛乳：家庭においてこれまで以上に牛乳の消費拡大に取り込むほか、JA健康寿命100歳プロジェクトが推進している「乳和食®」に取り込み、牛乳をおいしく摂りながら、塩分を抑え、カルシウムを補い、ご飯を中心とした和食を実践します。

乳和食® HP：<https://www.ja-care.net/100project/nyuwashoku/>

(3) 花卉：農林水産省が提唱する「花いっぱいプロジェクト」に賛同し、①フラワーバレンタインの取り組みの一環として、ホワイトデーに花を贈る花き購入の推進、②胸ポケットに生け花のコサージュを挿す取り組みの推進、③家庭や職場での花飾りや公共スペースでの花展示等に取り組みます。

農水省 HP：<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kaki/pdf/project-press.pdf>

北海道農協青年部協議会・JA北海道女性協議会

今月のミルクレシピ

成長期や健康長寿に骨を強くするカルシウムを!

ラタトゥイユのミルクガレット

野菜たっぷり朝食にもぴったり

【作り方】

- ① パプリカはヘタと種を除いて食べやすい大きさに切り、ズッキーニとなすは1cm幅の輪切りにする。
- ② トマトは皮をむき、6～8つに切る。
- ③ フライパンにオリーブ油を熱して①を炒める。油が回ったらトマトを加えて炒め煮し、塩、こしょうで味を調える。
- ④ ボウルにそば粉をふるって入れ、塩、卵、バターを加えて混ぜ、牛乳でのばす。
- ⑤ 直径24cmくらいのフライパンにサラダ油を薄くひいて弱火で温め、④の1/3量を流し入れて全体に広げる。生地が乾いてきたら中央に卵を割り入れる。白身が白っぽくなってきたら③の1/3量をのせ、生地を周囲を内側に折って包む。仕上げにこしょうをふる。残りも同様に作る。

※トマトは皮に十字の切り目を入れ、熱湯にくぐらせて冷水にとると皮がラクにむけます。



材 料 (3枚分)

〈ラタトゥイユ〉			
パプリカ(赤、黄)各	1/2コ	ズッキーニ	1本
なす	1本	トマト	3コ
オリーブ油	大さじ2～3	塩、こしょう	各少々
〈ガレット〉			
そば粉(なければ小麦粉)	100g	塩	小さじ1/2
卵	1コ	溶かしバター	10g
牛乳	180ml	サラダ油	適量
卵	3コ	こしょう	少々

◎元気・キレイ★ポイント

トマトに含まれるリコピンは抗酸化物質の一種で、ガンや老化の予防に役立つといわれています。この物質は熱に強いので、煮込み料理にもどうぞ!

※Jミルクホームページより転載

理事会報告

3月定例理事会 令和2年3月30日(月)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 2月末(決算)財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 自己査定結果について
6. 経営定期点検の実施結果について
7. 令和元年度事業報告及び決算概要について
8. 令和元年度内部監査の業務活動報告について
9. 内部統制(コンプライアンス・プログラム含む)及びリスク管理に係る取組状況について
10. 役員報酬審議会の結果について
11. 農業における新型コロナウイルス感染者発生時の対応などについて

- 議案第6号 貸付金の利率の最高限度について
 議案第7号 定款の一部改正について
 議案第8号 規約の一部改正について
 議案第9号 諸規程等の一部変更について
 議案第10号 第14回通常総会の招集および提出議案について
 議案第11号 議決権行使書面の取扱いについて
 議案第12号 信用の供与等の最高限度額設定について
 議案第13号 理事に対する資金の貸付について
 議案第14号 役員と組合との取引基準の決定について
 議案第15号 令和2年度の余裕金運用について
 議案第16号 令和2年度コンプライアンス・プログラムの設定について
 議案第17号 固定資産の取得について
 議案第18号 令和2年度経営定期点検実施計画書の策定について
 議案第19号 特別積立金の取崩しについて

付議事項

- 議案第1号 融資の承認について
 議案第2号 目的積立金の目的取崩しについて
 議案第3号 目的積立金の目的外取崩しについて
 議案第4号 令和2年度(第15年度)事業計画の設定について
 議案第5号 令和2年度諸利率・料率の設定について

その他協議事項

1. 春季地区懇談会の開催について
2. 次期白糠町長選挙への出馬推薦について他

令和元年度	生乳生産実績(3月)			
	月計乳量(kg)	3月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,758,271.2	101.3	101,853,637.3	100.3
鶴居地区	3,335,230.2	102.6	38,714,043.7	102.2
幌呂地区	2,334,637.3	103.0	26,882,808.6	102.5
白糠地区	1,672,275.5	96.4	19,896,543.5	98.5
音別地区	1,416,128.2	101.9	16,360,241.5	95.1
管内計	45,847,586.8	102.1	533,119,098.8	101.1
(前年度管内計)	44,910,066.5		527,309,282.2	

辞令発令

(令和2年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
石渡正志	白糠支所長兼購買課長	白糠支所長
林稔和	白糠支所 販売課販売係	音別支所 購買課長
春日守	音別支所長兼購買課長兼燃料課長	音別支所長兼営農課長
大石雅明	音別支所 営農課長	白糠支所 購買課長
若狭幸男	音別支所 購買課資材係長兼燃料課音別給油所係長	音別支所 購買課資材係長兼燃料課音別給油所係長兼生活係
安藤資章	音別支所 購買課生活係長	音別支所 営農課営農係

編集後記
EDITOR'S NOTE

□新型コロナウイルス感染症は世界各国でその猛威を振り続けております。日本では、4月16日、新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が全国に発令され、同時に特に重点的に感染拡大防止への取り組みを進めていく必要性のある13都道府県は「特定警戒都道府県」に位置付けられました。テレビの報道や新聞等様々な場面でコロナ対策等の情報が飛び交っております。緊急事態で何をすればよいのかを考えた時、何よりも自分自身への感染を防ぐ事、他の人に感染させない事等が重要です。「不要不急の外出を避ける」「3つの密を避ける」など、毎日の生活の中で実行可能な事から取り組む必要があります。



JAくしろ丹頂ホームページ

